

2024年9月22日実施

令和6年度(第71回)  
情報処理検定試験  
〈ビジネス情報〉  
第1級 試験問題

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は11ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受験番号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. システム開発手法の一つで、開発の初期段階で試作品を作成し、システムの機能を利用者に提示し、評価を受けることで、利用者の要求をより反映させやすい方法。
2. 複数台のハードディスク装置を1台のハードディスク装置であるかのように運用し、信頼性を上げることや処理速度の向上が期待できる技術。
3. プログラムの内部構造に着目し、条件分岐や例外処理などが意図したとおりに動作しているかを確認するテスト。
4. コンピュータシステムに処理の指示を出してから、すべての実行結果が出力されるまでの時間。
5. 信号機システムにおいて、障害が発生した際、信号機をすべて赤信号に変えるというように、機械やシステムの故障や誤作動を想定し、障害発生時における安全を第一優先に考えた設計思想。

解答群

- |                |                |                |
|----------------|----------------|----------------|
| ア. DHCP        | イ. ウォータフォールモデル | ウ. ターンアラウンドタイム |
| エ. ホワイトボックステスト | オ. ポート番号       | カ. デジタル署名      |
| キ. RAID        | ク. フェールソフト     | ケ. プロトタイピングモデル |
| コ. ブラックボックステスト | サ. フェールセーフ     | シ. レスポンスタイム    |

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. 安全性                                 2. 結合テスト                                 3. NAT  
 4. SMTP   5. シンククライアント

<B群>

- ア. インターネット上で電子メールをやり取りする際、電子メールを送信、転送するために用いるプロトコル。
- イ. ネットワークに直接接続して使用できる補助記憶装置で、ファイルサーバのようにファイルの共有やデータへのアクセスができる装置。
- ウ. ネットワークにおいて、端末のコンピュータには、最低限の機能のみを持たせ、処理はサーバが行うシステム構成。
- エ. ユーザーがWebサイトへアクセスした際の情報などをユーザ側の端末に保存するしくみ。再度、同じサイトにアクセスをした際に保存された情報が使用されることが多い。
- オ. 開発工程におけるテスト作業の一つで、分割して作成したモジュールを組み合わせて、モジュール間のインタフェースに着目して行うテスト。
- カ. RASISが示す指標の一つで、使用するデータなどに間違いや矛盾がないこと。
- キ. 開発工程におけるテスト作業の一つで、作成したモジュール単体が仕様どおりに動作するかどうか確認するテスト。
- ク. プライベートIPアドレスしか持たないLAN内のコンピュータが、インターネットにアクセスできるように、プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを相互に変換する技術。
- ケ. インターネット上で電子メールをやり取りする際、電子メールを受信するために用いるプロトコル。
- コ. RASISが示す指標の一つで、部外者から情報を見られないようにするなど外部から不正にアクセスされにくいこと。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、5. については数値を答えなさい。

1. システムの利用者がネットワークに接続やログインなどをした際、日時や接続元の機器、その応答内容を、時系列に記録したもの。

ア. アクセスログ

イ. システムログ

ウ. MIME

2. システム開発において、入出力画面や帳票のレイアウトなどを、システムの利用者の視点で、設計する開発工程。

ア. 要件定義

イ. 内部設計

ウ. 外部設計

3. IPアドレスのビット列のうち、そのネットワークに接続された個々のコンピュータやプリンタなどを識別するために割り振られたビット列。

ア. ホストアドレス

イ. ネットワークアドレス

ウ. ブロードキャストアドレス

4. 解像度 $3,000 \times 2,000$ ピクセル、1ピクセルあたり24ビットの色情報で、1秒間に30フレームの映像を1分間、記録した際の容量は何GBか。なお、圧縮はしないものとする。ただし、 $1\text{GB} = 10^9\text{B}$ とする。

ア. 0.54GB

イ. 32.4GB

ウ. 259.2GB

5. 500Mbpsの通信回線を使用して、2.7GBのデータを転送するのに必要な時間は何秒か。なお、伝送効率は60%とし、その他の外部要因は考えないものとする。ただし、 $1\text{GB} = 10^9\text{B}$ とする。

## 【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の文章中の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

□とは度数分布を図にしたもの。例えば、テスト結果のばらつきや分布をグラフ化する際、「得点」を横軸（階級）、「人数」を縦軸（度数）として棒グラフで表現したものである。

ア. 散布図

イ. ヒストグラム

ウ. パレート図

問2. 次の文章、表を参考に文章中の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

製品XおよびYを生産するために2種類の原料A, Bが必要である。製品1個あたりの必要量と調達可能量は表に示すとおりである。

原料	製品Xの1個あたりの必要量	製品Yの1個あたりの必要量	調達可能量
A	2	1	100
B	1	2	80
1個あたりの販売利益	100	150	

表にある条件を式で表すと、次のとおりとなる。

原料Aは、 $2x + y \leq 100$ 、原料Bは、 $x + 2y \leq 80$ と表せる。

原料Aおよび原料Bの連立不等式を $x$ と $y$ について解くと、製品Xの生産量は40以下、製品Yは20以下となる。

製品Xと製品Yの1個あたりの販売利益が、それぞれ100円、150円であるとき、 $100 \times 40 + 150 \times 20 = 7000$ が最適な生産量を生産したときの販売利益となる。

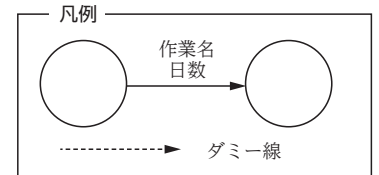
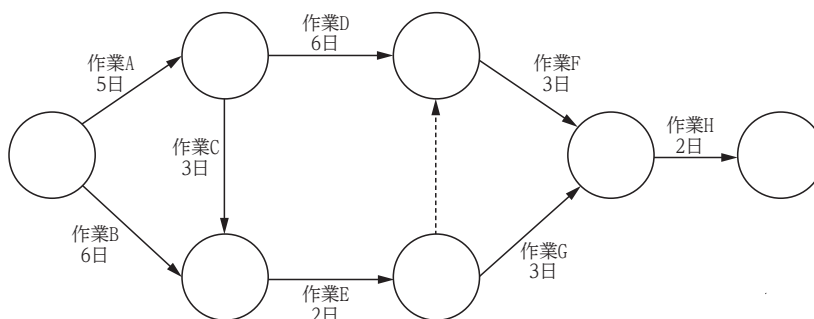
このように最適解を求める方法を□という。

ア. 線形計画法

イ. 回帰分析

ウ. PPM分析

問3. 次の図はあるプロジェクトのアローダイアグラムである。このプロジェクトにおけるクリティカルパスとして適切なものを選び、記号で答えなさい。



ア. 作業A → 作業D → 作業F → 作業H

イ. 作業A → 作業C → 作業E → 作業F → 作業H

ウ. 作業B → 作業E → 作業G → 作業H

問4. ある販売店では、会員向けの商品購入の際のポイント付与サービスについて、次の決定表を使用している。決定表の(a)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。なお、商品の購入者に会員でないものはなく、会員は通常会員かシニア会員のどちらかである。また、次の条件の①は通常ポイント、②は5倍ポイント、③は10倍ポイント、④は15倍ポイントを示している。

### 条件

- (1) 通常会員，シニア会員共に，①が付与される。
- (2) 通常会員，シニア会員共に，毎週日曜日には②のみが付与される。
- (3) 通常会員，シニア会員共に，毎月10日，20日，30日には②のみが付与される。
- (4) 通常会員は，日曜日でかつ毎月10日，20日，30日には③のみが付与される。
- (5) シニア会員は，日曜日でかつ毎月10日，20日，30日には④のみが付与される。

条件部	通常会員	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N
	シニア会員	N	Y	N	Y	N	Y	N	Y
	日曜日	N	N	Y	Y	N	N	Y	Y
	10日20日30日	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y
動作部	通常ポイント	X	X	※	※	※	(a)		
	5倍ポイント	-	-	※	※	※			
	10倍ポイント	-	-	※	※	※			
	15倍ポイント	-	-	※	※	※			

- (注) 条件部 Y：条件を満たす      N：条件を満たさない  
 動作部 X：行動                      -：行動なし  
 ※印は，表記を省略している。

ア.

-	X	X
-	X	X
X	X	-
-	-	-

イ.

-	-	-
X	-	-
-	-	X
-	X	-

ウ.

-	-	-
X	-	-
-	X	-
-	-	X

問5. BPRを説明している次の文章のうち適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 企業が自社のリソース（資金，資産，人材など）を使用して利益を最大化するための手法またはソフトウェア群。リソースを統合管理し，有効に利用することにより合理的，効率的な経営活動を行う。
- イ. 企業などで組織の構造や業務の流れ，情報システムなどのプロセスを，最適化する観点から抜本的に見直し再構築すること。作業の効率化や費用の削減などを目的に行う。
- ウ. 企業が顧客と良好な関係を築くため，顧客情報を一元管理してサービスの向上や販売促進に活用するシステムのこと。部門間で顧客情報を共有することで，顧客ごとに最適なアフターケアやサービスなどの提供が可能となる。

- 【5】 あるチョコレート専門店では、アプリ会員の商品の注文状況を次のようなリレーショナル型データベースを利用し、管理している。次の各問いに答えなさい。

### 処理の流れ

- ① 新規の会員登録希望者は登録の手続きを行い、会員表にデータを入力する。
- ② 注文表は、一回の注文につき1レコードが作成され、注文番号は連番で入力される。
- ③ 注文明細表は、注文した商品の種類の数だけレコードが作成される。例えば、一回の注文で二種類の商品注文した場合、注文明細表には2レコードが作成される。

### 会員表

会員コード	会員名	生年月日	メールアドレス	電話番号
M0001	徳永 ○○	1959/01/21	toku.XXXXXXXX@XXX.jp	XXX-XXXX-XXXX
M0002	飯塚 ○○	1956/07/04	saedz.XXXXXX@XXXXX.jp	XXX-XXXX-XXXX
}	}	}	}	}
M0500	織田 ○○	2000/01/06	oda491@XXX.jp	XX-XXXX-XXXX
M0501	山城 ○○	2002/12/04	yamashiro.XXX@XXXXX.jp	XXXX-XX-XXXX
}	}	}	}	}
M1000	中井 ○○	1994/08/07	nakai.315@XXXX.jp	XXX-XXXX-XXXX
}	}	}	}	}

### 商品表

商品コード	商品名	単価
CA01	アソートA	1850
CA02	アソートB	3200
CH01	ミルク	500
CH02	ビター	500
CH03	ホワイト	500
CH04	シーソルト	550
CH05	キャラメル	550
CH06	抹茶	550
CH07	ヘーゼルナッツ	575
CH08	カカオ	575

### 注文明細表

注文番号	商品コード	数量
}	}	}
2041	CH07	4
2041	CH08	4
2041	CA02	1
2042	CH01	5
2042	CH02	3
2042	CH03	3
}	}	}
2270	CH01	6
2270	CH02	4
2271	CH03	3
2271	CH04	1
2271	CH05	3
2272	CH06	2
}	}	}
2480	CH07	3
2480	CH08	2
2481	CH05	1
2481	CH06	1
2482	CH07	4
2482	CH08	4
}	}	}

### 注文表

注文番号	会員コード	注文日	受取希望日
}	}	}	}
2041	M0200	2024/02/09	2024/02/13
2042	M0387	2024/02/09	2024/02/14
}	}	}	}
2175	M0002	2024/03/01	2024/03/09
2176	M0010	2024/03/01	2024/03/11
}	}	}	}
2270	M0949	2024/03/25	2024/03/28
2271	M0026	2024/03/26	2024/03/31
}	}	}	}
2481	M0382	2024/05/07	2024/05/10
2482	M0650	2024/05/07	2024/05/12
}	}	}	}

- 問1. 次の図は、四つの表のリレーションシップを表したE-R図である。空欄(a)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。



(注) ※印は、表記を省略している。

ア. 注文表

イ. 注文明細表

ウ. 商品表

問2. 新規の会員登録希望者を、会員表に追加することになった。次のSQL文の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

[新規会員登録希望者]

新規会員登録票			
会員コード	M1024	生年月日	1982/06/01
電話番号	XXX-XXXX-XXXX	メールアドレス	mitsu.X@XXXXX.ne.jp
会員名	三森 ○ 様		

INSERT INTO 会員表 VALUES [ ]

- ア. ('M1024', '三森 ○', '1982/06/01', 'XXX-XXXX-XXXX', 'mitsu.X@XXXXX.ne.jp')  
 イ. ('M1024', '三森 ○', '1982/06/01', 'mitsu.X@XXXXX.ne.jp', 'XXX-XXXX-XXXX')  
 ウ. ('M1024', '三森 ○', 'XXX-XXXX-XXXX', 'mitsu.X@XXXXX.ne.jp', '1982/06/01')

問3. 2024年3月1日から2024年8月31日に注文のあった会員コードと会員名を重複なく抽出する。次のSQL文の空欄をうめなさい。

SELECT [ ] A.会員コード, 会員名  
 FROM 会員表 A, 注文表 B  
 WHERE A.会員コード = B.会員コード  
 AND 注文日 BETWEEN '2024/03/01' AND '2024/08/31'

会員コード	会員名
M0002	飯塚 ○○
M0010	西 ○○
}	}

問4. 2024年2月14日と3月31日と5月12日を受取希望日としている、受取希望日と商品名と数量を抽出する。次のSQL文の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

SELECT 受取希望日, 商品名, 数量  
 FROM 商品表 A, 注文表 B, 注文明細表 C  
 WHERE A.商品コード = C.商品コード  
 AND B.注文番号 = C.注文番号  
 AND [ ]

受取希望日	商品名	数量
2024/02/14	ミルク	5
2024/02/14	ビター	3
}	}	}
2024/03/31	キャラメル	3
}	}	}

- ア. 受取希望日 IN ('2024/02/14', '2024/03/31', '2024/05/12')  
 イ. 受取希望日 NOT IN ('2024/02/14', '2024/03/31', '2024/05/12')  
 ウ. 受取希望日 = '2024/02/14' AND 受取希望日 = '2024/03/31' AND 受取希望日 = '2024/05/12'

問5. 注文日が2024年5月1日の会員ごとの売上金額合計を抽出するため、次のSQL文を実行したが、正しく処理できなかった。正しく処理をするために行った修正について適切なものを選び、記号で答えなさい。

SELECT A.会員コード, 会員名, (ア)数量 \* 単価 AS 売上金額合計  
 FROM 会員表 A, 商品表 B, 注文表 C, 注文明細表 D  
 WHERE A.会員コード = C.会員コード  
 AND B.商品コード = D.商品コード  
 AND C.注文番号 = D.注文番号  
 (イ)AND 注文日 = '2024/05/01'  
 (ウ)GROUP BY A.会員コード, 会員名, 数量 \* 単価

会員コード	会員名	売上金額合計
M0495	関 ○○	575
M0495	関 ○○	3450
M0890	海老原 ○○	3200
M0890	海老原 ○○	1500
}	}	}



会員コード	会員名	売上金額合計
M0495	関 ○○	4025
M0890	海老原 ○○	4700
}	}	}

- ア. (ア) 修正なし (イ) 修正なし (ウ) HAVING 注文日='2024/05/01'を追加  
 イ. (ア) (数量 \* 単価) (イ) AND 注文日='2024/05/01'を削除 (ウ) 修正なし  
 ウ. (ア) SUM(数量 \* 単価) (イ) 修正なし (ウ), 数量 \* 単価を削除

## 【6】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、ある工場のボウリング玉直径測定表である。E列には、「中央値」「平均値」を求める。E3に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

= (B4:B203)

	A	B	C	D	E
1					
2	ボウリング玉直径測定表				単位:cm
3	No.	測定値(cm)		中央値	21.699
4	1	21.664		平均値	21.708
5	2	21.600			
6	3	21.683			
7	4	21.631			
8	5	21.666			
9	}	}			
202	199	21.827			
203	200	21.699			

ア. MEDIAN

イ. MODE

ウ. FORECAST

問2. 次の表は、ある会社の社員一覧表である。桜支店と桜北支店が合併し さくら中央支店 となることになり、「所属」を「新所属」のように変換して新しく設定する。D4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をD141までコピーする。なお、この会社の支店は、桜支店、桜東支店、桜西支店、桜南支店、桜北支店の五つある。

	A	B	C	D
1				
2	社員一覧表			
3	社員ID	氏名	所属	新所属
4	1010	三輪 ○○	桜北支店	さくら中央支店
5	1011	清水 ○○	桜東支店	桜東支店
6	1012	松本 ○○	桜南支店	桜南支店
7	}	}	}	}
140	1146	村松 ○○	桜支店	さくら中央支店
141	1147	村上 ○○	桜南支店	桜南支店

ア. =IF(C4="桜支店",SUBSTITUTE(C4,"桜支店","さくら中央"),

IF(C4="桜北支店",SUBSTITUTE(C4,"桜北支店","さくら中央"),C4))

イ. =IF(C4="桜支店",SUBSTITUTE(C4,"桜","さくら中央"),

IF(C4="桜北支店",SUBSTITUTE(C4,"桜北","中央"),C4))

ウ. =IF(OR(C4="桜支店",C4="桜北支店"),SUBSTITUTE(SUBSTITUTE(C4,"桜","さくら"),"北","中央"),C4)

エ. =IF(OR(C4="桜支店",C4="桜北支店"),SUBSTITUTE(SUBSTITUTE(C4,"桜","さくら中央"),"北",""),C4)

問3. 次の表は、あるショッピングモール内のキッズパーク利用表である。入場時に「入場時刻」を入力し、退場時に「退場時刻」を入力する。「利用時間」は、「退場時刻」を5分単位で切り捨てた値から、「入場時刻」を5分単位で切り上げた値を引いて求める。D4に設定する次の式の空欄をうめなさい。

	A	B	C	D
1				
2	キッズパーク利用表			
3	No.	入場時刻	退場時刻	利用時間
4	1	10:14	11:10	0:55
5	2	10:23	11:02	0:35
6	3	10:24	11:54	1:25
7	}	}	}	}
93	90	17:55	18:25	0:30
94	91	17:59	19:46	1:45
95				

= (C4,TIME(0,5,0))- (B4,TIME(0,5,0))



問4. 次の表は、あるパン販売店の売上一覧表と商品別週間売上表である。商品別週間売上表は、商品別の過去1週間分の売上数の合計を求め、翌日の製造数の参考にしてしている。F4に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をL12までコピーする。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2	売上一覧表			商品別週間売上表									
3	日付	商品名	売上数	商品名	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前	6日前	7日前	週平均	
4	9月1日	ドーナツ	4	焼きそばパン	29	22	10	18	16	25	27	21.0	
5	9月1日	チーズフランス	2	ウィンナー	10	25	29	28	15	20	23	21.4	
6	9月1日	ウィンナー	4	明太ポテト	18	15	25	16	19	27	23	20.4	
7	9月1日	焼きそばパン	4	ハムマヨ	15	24	28	30	14	22	11	20.6	
8	9月1日	焼きそばパン	3	チーズフランス	30	23	18	11	25	29	10	20.9	
9	9月1日	チーズフランス	3	小倉あんぱん	15	15	13	18	27	25	29	20.3	
10	9月1日	ハムマヨ	4	チョココロネ	12	11	12	22	24	30	27	19.7	
11	9月1日	ドーナツ	2	ドーナツ	12	24	18	14	30	23	19	20.0	
12	9月1日	あんドーナツ	1	あんドーナツ	24	29	18	23	19	19	28	22.9	
13	9月1日	小倉あんぱん	2										
14													
1114	9月21日	ハムマヨ	2										
1115	9月21日	明太ポテト	3										
1116	9月21日	ハムマヨ	1										
1117													

=SUMIFS(\$C\$4:\$C\$2000,\$B\$4:\$B\$2000,〔a〕,\$A\$4:\$A\$2000,TODAY()-VALUE(LEFT(〔b〕,1)))

ア. \$E\$4

イ. E\$4

ウ. \$E4

エ. \$F\$3

オ. F\$3

カ. \$F3

問5. 次のシート名「会員データ入力」の 会員表へ登録 ボタンをクリックすると、シート名「会員データ入力」に格納されたプログラムが実行され、D8の値をチェックした後、シート名「会員データ入力」の入力欄のデータが、シート名「会員表」の「会員番号」から「生年月日」に登録される。このような、手続きの自動化の名称として適切なものを選び、記号で答えなさい。

#### シート名「会員データ入力」

	A	B	C	D
1				
2	会員データ登録			
3		入力欄		確認欄
4	氏名	鈴木 ○○		OK
5	住所	東京都新宿区△△町1-2-3		OK
6	連絡先	XX-XXXX-XXXX		OK
7	生年月日	1975/6/24		OK
8		チェック		OK
9		会員表へ登録		
10				
11				

#### シート名「会員表」

	A	B	C	D	E
1					
2	会員表				
3	会員番号	氏名	住所	連絡先	生年月日
4	1	後藤 ○○	福岡県福岡市中央区△△2-1-4	XXX-XXX-XXXX	1984/1/9
5	2	武内 ○○	東京都中野区△△3-4-19-1-4	XXX-XXX-XXXX	1995/11/27
6	3	菊池 ○○	宮城県仙台市宮城野区△△3-4-102	XXXX-XX-XXXX	1975/10/1
7	?	?	?	?	?
356	353	及川 ○○	東京都港区△△4-2-9	XXXX-XX-XXXX	1971/6/26
357	354	大塚 ○○	神奈川県藤沢市△△3-2-4	XXX-XXX-XXXX	1945/6/8
358					

ア. ソルバー

イ. マクロ機能

ウ. ピボットテーブル

【7】 次の表は、あるフォトスタジオの支払代金計算書である。作成条件および作成手順にしたがって、各問いに答えなさい。

## シート名「支払代金計算書」

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	支払代金計算書							
2								
3								
4	1. お客様情報							
5	入力欄				確認欄			
6	会員番号	10001		名前	前太田 ○○			
7				前回撮影日	2024/1/21			
8								
9	2. 撮影料金							
10	撮影日	2024/8/31		撮影料金割引	無	SNS割引	有	リポート割引
11							有	サマー割引
12	3. 商品注文							
13	(1)アルバム注文							
14	商品コード	AL04		名称	デラックス			代金
15	カット数	4						5,800
16	追加台紙							24,000
17	数量	1						800
18								
19	(2)単品注文							
20	商品コード	数量		名称	代金			
21	SS04	2		ハ切写真	8,800			
22	OP01	1		カレンダー	7,000			
23	OP03	2		画像データ	2,400			
24	OP05	4		ポストカード	3,200			
25								
26				商品コード	代金			
27				オプション割引	OP*			2,400
28								
29	4. 代金計算							
30				撮影料金	1,500			
31				アルバム代金	30,600			
32				単品代金	19,000			
33				支払代金	51,100			

## シート名「会員表」

	A	B	C	D
1	会員表			
2	会員番号	名前	SNS	電話番号
3	10001	太田 ○○	無	XXX-XXXX-XXXX
4	10002	高木 ○○	無	XXX-XXXX-XXXX
5	}	}	}	}
6	11451	横山 ○○	有	XXX-XXXX-XXXX
1454	11452	長谷 ○○	有	XXX-XXXX-XXXX
1455	11453	小野 ○○	有	XXX-XXXX-XXXX
1456	}	}	}	}
6839	16836	森田 ○○	有	XXX-XXXX-XXXX
6840				

## シート名「撮影日表」

	A	B	C	D
1	撮影日表			
2	会員番号	回数	連結番号	前回撮影日
3	10001	1	1000101	2017/4/1
4	10002	1	1000201	2017/4/1
5	}	}	}	}
6	16832	1	1683201	2024/8/29
9493	10017	11	1001711	2024/8/29
9494	16833	1	1683301	2024/8/29
9495	12394	4	1239404	2024/8/30
9496	16834	1	1683401	2024/8/30
9497				
9498				

## シート名「商品表」

	A	B	C	D	E	F
1	アルバム表					
2	No.	種類	商品コード	名称	代金	カット料金
3	1	アルバム	AL01	オリジナル	0	4,400
4	2	アルバム	AL02	キャラクター	2,500	4,800
5	3	アルバム	AL03	フォーマル	3,800	5,300
6	4	アルバム	AL04	デラックス	5,800	6,000
7						
8						
9	単品表					
10	No.	種類	商品コード	名称	単価	
11	1	写真	SS01	半切写真	9,500	
12	2	写真	SS02	四切写真	5,900	
13	3	写真	SS03	六切写真	4,900	
14	4	写真	SS04	八切写真	4,400	
15	5	オプション	OP01	カレンダー	7,000	
16	6	オプション	OP02	卓上カレンダー	4,900	
17	7	オプション	OP03	画像データ	1,200	
18	8	オプション	OP04	キーホルダー	1,500	
19	9	オプション	OP05	ポストカード	800	
20	10	オプション	OP06	写真フレーム	5,500	

## シート名「撮影料金表」

	A	B
1	撮影料金表	
2	割引	撮影料金
3	無し	3,700
4	1種類	2,700
5	2種類	1,500
6	3種類	0
7		

## 作成条件

1. シート名「支払代金計算書」の入力欄に適切なデータを順に入力すると、支払代金を求めることができる。なお、入力欄は、太罫線で囲われており、確認欄は、関数や数式が設定されたセルである。
2. 入力欄に入力された値が適切でない場合や、コードが参照する表にない場合、確認欄に NG を表示し、入力欄が未入力の場合、確認欄に何も表示しない。また、確認欄が 空欄 または NG の場合、それ以降の項目は、表示しない。
3. 撮影料金は、3,700円とする。ただし、条件によって3種類の撮影料割引があり、併用することができる。
4. 割引の種類は、SNSに登録している場合は SNS割引、「前回撮影日」が1年以内の場合は リピート割引、「撮影日」が 7月、または 8月 の場合は サマー割引 がある。
5. 商品注文は、アルバムのみ、単品のみ、またはアルバムと単品の組み合わせで注文できる。
6. アルバムには、台紙が1枚取り付けられている。台紙は、表と裏にそれぞれ1カットの写真を貼り付けることができる。写真が2カットを超える場合は、台紙を追加する。例えば、写真が3カットの場合、台紙を1枚追加する。なお、追加する台紙の1枚あたりの代金は 800円 とする。
7. 単品注文にはオプション割引がある。シート名「商品表」の「単品表」の「種類」が オプション である商品の注文が3件以上ある場合、求めた「代金」の中から最低の「代金」を割引く。同じ「代金」がある場合は、一つのみ割引く。
8. シート名「撮影日表」は撮影終了後にデータを登録する。なお、登録件数の上限は 99999 とする。
9. 「連結番号」は、「会員番号」と、その「会員番号」を集計した「回数」を求め、組み合わせている。

例 16855      7      →      1685507  
       会員番号    回数                    連結番号

## 作成手順

1. シート名「支払代金計算書」は、次のように作成されている。
  - (1) C6は、「会員番号」を入力する。また、F6は、C6をもとに、シート名「会員表」を参照して「名前」を表示する。
  - (2) F7は、作成条件9にしたがって「連結番号」を求め、これをもとに、「前回撮影日」を表示する。
  - (3) C10は、「撮影日」を入力する。
  - (4) F10は、C6をもとに、シート名「会員表」を参照して「SNS」を表示する。
  - (5) G10は、C10がF7から1年以内の場合、有 を表示し、それ以外は 無 を表示する。
  - (6) H10は、C10から抽出した月の値が 7、または 8 の場合、有 を表示し、それ以外は 無 を表示する。
  - (7) C14は、シート名「商品表」の「アルバム表」の「商品コード」を入力する。また、F14とG14は、C14をもとに、シート名「商品表」の「アルバム表」を参照して「名称」と「代金」を表示する。
  - (8) C15は、「カット数」を入力する。また、G15は、C14をもとに、シート名「商品表」の「アルバム表」を参照した「カット料金」に、C15を掛けて求め、表示する。
  - (9) G16は、作成条件6にしたがって求め、表示する。
  - (10) C17は、注文するアルバムの「数量」を入力する。
  - (11) B21～B25は、シート名「商品表」の「単品表」の「商品コード」を入力する。F21は、B21をもとに、シート名「商品表」の「単品表」を参照して「名称」を表示する。なお、F22～F25も同様に求める。
  - (12) C21～C25は、「数量」を入力する。また、G21は、B21をもとに、シート名「商品表」の「単品表」を参照した「単価」にC21を掛けて求め、表示する。なお、G22～G25も同様に求める。
  - (13) F27は、B21～B25にシート名「商品表」の「単品表」の「種類」が オプション の「商品コード」が三つ以上ある場合、OP\* を表示し、それ以外は 無 を表示する。
  - (14) G27は、F27をもとに、作成条件7にしたがって求め、表示する。
  - (15) G30は、F10～H10をもとに、シート名「撮影料金表」を参照し、「撮影料金」を求め、表示する。
  - (16) G31は、G14～G16の計にC17を掛けて求め、表示する。
  - (17) G32は、G21～G25の計からG27を引いて求め、表示する。
  - (18) G33は、G30～G32の合計を求め、表示する。

「問題を読みやすくするために、  
このページは空白にしてあります。」

問1. シート名「支払代金計算書」のH10に設定する式の空欄をうめなさい。ただし、空欄には同じものが入る。

=IF(C10="", "", IFERROR(IF(OR( ( ) (C10)=7, ( ) (C10)=8), "有", "無"), "NG"))

問2. シート名「支払代金計算書」のG16に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

=IF(C15="", "", ( ) \*800)

ア. FLOOR(C15/2,2)

イ. INT(C15/2)-1

ウ. ROUNDUP(C15/2,0)-1

問3. シート名「支払代金計算書」のG27に設定する式の空欄をうめなさい。

=IF(F27="OP\*", ( ) (B20:G25,6,F26:F27), "")

問4. シート名「支払代金計算書」のG30に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア. =IFERROR(INDEX(撮影料金表!A4:B7,COUNTIFS(F10:H10,"有"),2),"NG")

イ. =IFERROR(INDEX(撮影料金表!A4:B7,COUNTIFS(F10:H10,"有")+1,2),"NG")

ウ. =IFERROR(VLOOKUP(COUNTIFS(F10:H10,"有")&"種類",撮影料金表!A4:B7,2,FALSE),"NG")

問5. シート名「支払代金計算書」が次のように表示されているとき、G33に表示される適切なデータを答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								

**支払代金計算書**

1. お客様情報

	入力欄		確認欄
会員番号	11452	名前	前長谷 ○○
		前回撮影日	2023/7/13

2. 撮影料金

撮影日	2024/8/31	撮影料金割引	SNS割引	リピート割引	サマー割引
			※	無	※

3. 商品注文

(1)アルバム注文

商品コード	AL01	名称	代金
カット数	5	※	※
追加台紙数	2	※	※

(2)単品注文

商品コード	数量	名称	代金
SS03	1	※	※
OP02	1	※	※
OP03	2	※	※
OP05	3	※	※
OP06	1	※	※

オプション割引

商品コード	代金
※	※

4. 代金計算

撮影料金	※
アルバム代金	※
単品代金	※
支払代金	※

(注) ※印は、値の表記を省略している。

(令和6年9月22日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

## 令和6年度(第71回)情報処理検定試験ビジネス情報 第1級

## 解答用紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5
					秒

小計	
----	--

【4】	問1	問2	問3	問4	問5

【5】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

【6】	問1	問2	問3	問4		問5
				(a)	(b)	

【7】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和6年9月22日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

## 令和6年度(第71回)情報処理検定試験ビジネス情報 第1級

## 審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	ケ	キ	エ	ウ	サ

【2】	1	2	3	4	5
	コ	オ	ク	ア	ウ

【3】	1	2	3	4	5
	ア	ウ	ア	イ	72 秒

各2点  
15問

小計

30

【4】	問1	問2	問3	問4	問5
	イ	ア	ア	ウ	イ

【5】	問1	問2	問3	問4	問5
	イ	イ	DISTINCT	ア	ウ

各3点  
10問

小計

30

【6】	問1	問2	問3	問4		問5
				(a)	(b)	
	ア	エ	CEILING	ウ	オ	イ

【7】	問1	問2	問3	問4	問5
	MONTH	ウ	DMIN	イ	66,400

- ※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。
- ※ 記述問題の大文字、小文字、コンマの有無は問わない。

各4点  
10問

小計

40

得点合計

100